

章末問題

保健編3章

月 日 年 組 名前

確認の問題 (知識・技能)

傷害の発生要因

▶ P.68~69

1 傷害が起こる要因には、人的要因と環境要因とがあります。下のア～コを二つの要因に分類しなさい。

- ①人的要因 ()
- ②環境要因 ()
- ア：焦り イ：滑りやすい廊下
- ウ：大雨 エ：固定されていないサッカーゴール
- オ：注意不足 カ：体調不良
- キ：強風 ク：凍結した道路
- ケ：過剰な運動 コ：いろいろ

交通事故の発生要因

▶ P.70~71

2 次の各文章の下線部が、正しければ○を、誤りであれば正しく訂正しなさい。

- ①中学生の交通事故は、歩行中に最も多く起こっている。 ()
- ②中学生の自転車での交通事故の要因の多くは、交通法規を守らないなど、環境要因によるものである。 ()
- ③交通事故は、人的要因と環境要因に加え、車両要因が関わり合って起こる。 ()
- ④右側に運転席のある大型トラックでは、真後ろや右側後方の死角が大きい。 ()

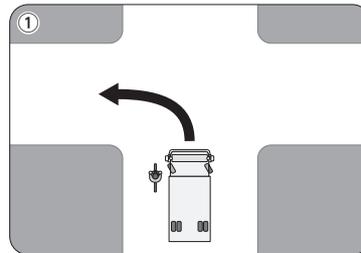
3 次の各文章の () の中の正しいほうに、○を付けなさい。

- ①自動車の運転者が危険を感じてから車が止まるまでに進む距離を、(ア：停止距離 イ：空走距離) という。
- ②自動車の停止距離は、スピードが速くなるほど (ア：短く イ：長く) なる。
- ③自動車の停止距離は、(ア：雨天の場合と道路が乾いている場合で同じである イ：雨天の場合のほうが長くなる)。
- ④自動車の前輪は後輪よりも (ア：内側 イ：外側) を通る。

交通事故の危険予測と回避

▶ P.72~73

4 次の絵を見て、潜んでいる危険とそれを回避する方法を、下のア～エの中から選びなさい。



- ア：一時停止をして、左右を確認する。
- イ：内輪差による巻き込まれ事故
- ウ：右から直進してくる自動車との衝突事故
- エ：大きな自動車の側面に近づかない。特に交差点では、左折する自動車に気を付ける。
- ①危険 () 回避する方法 ()
- ②危険 () 回避する方法 ()

犯罪被害の防止

▶ P.74~75

5 次の各文章の () の中の正しいほうに、○を付けなさい。

- ①道路や、囲いのない公園のように、敷地の境界が不明確で、誰でも自由に入出入りできる場所は、犯罪の危険が(ア：大きく イ：小さく) なる。
- ②暗い場所や人通りの少ない場所、周囲の人から見えにくい場所は、犯罪の危険が(ア：大きく イ：小さく) なる。
- ③家の施錠が不十分な場合、犯罪の危険が(ア：大きく イ：小さく) なる。

6 次のア～キを、犯罪を防ぐための3要素に分けなさい。

- ①領域性を高める。()
- ②監視性を高める。()
- ③抵抗性を高める。()

ア：暗い場所に照明を付ける。

イ：自転車の籠にネットを付ける。

ウ：家や公園の敷地を外からも見えやすいフェンスで囲む。

エ：家や窓に二重鍵を付ける。

オ：防犯カメラを設置する。

カ：挨拶や声かけを行う。

キ：ガードレールを設置する。

自然災害による危険

▶P.76～77

7 次の文章の()に当てはまる適切な語句を、下のア～クの中から選びなさい。

地震や台風、強風、(①)、落雷、竜巻、突風、大雪、火山噴火などの自然現象による被害を(②)という。

地震が発生すると、(③)の倒壊、家具の(④)、物の落下や移動などによって死傷者が出ることもある。このような、(②)の発生時や発生直後に起こる被害のことを(⑤)という。

地震によって起こる(⑥)や土砂崩れ、地割れ、火災、液状化などの(⑦)によって、死傷者が出たり、ガス、電気、水道などの(⑧)が破壊されたりすることもある。

- ア：転倒 イ：津波 ウ：家屋
 エ：大雨 オ：ライフライン カ：一次災害
 キ：二次災害 ク：自然災害

- ①() ②() ③() ④()
 ⑤() ⑥() ⑦() ⑧()

自然災害による傷害の防止

▶P.78～79

8 自然災害が起きたときの行動について、次の各文章が、正しければ○を、誤りであれば×を付けなさい。

- ①台所にいるときに緊急地震速報が放送されたので、すぐに、冷蔵庫が倒れないように支えた。()
- ②家にいるときに地震が発生したので、家具が無い場所に移動した。()
- ③大雨が続いているので、近くの川が増水していないか見に行った。()
- ④大雨で家の前の川が増水してきて危険を感じたので、自主的に避難した。()

⑤災害時は、テレビやラジオ、インターネットなどを活用し、気象庁が配信する各種の気象情報などを入手して冷静に行動する。()

応急手当の意義と方法

▶P.82～83

9 次の文章の()の中に当てはまる適切な語句を、下のア～クの中から選びなさい。

応急手当には、傷病の(①)を防ぐ、傷病者の苦痛や不安を(②)、治療の効果を高め、治療後の(③)を早めるなどの目的がある。

傷病者に大量の出血がある場合は、患部を強く押さえる(④)止血法を行う。

骨折や捻挫の可能性がある場合は、(⑤)を用いて患部を(⑥)すると、動かすことによる痛みや、状態の悪化を防ぐことができる。

- ア：和らげる イ：直接圧迫 ウ：悪化 エ：回復
 オ：包帯法 カ：呼吸法 キ：間接 ク：固定
- ①() ②() ③() ④()
 ⑤() ⑥()

心肺蘇生法

▶P.84～85

10 次の各文章の()の中の正しいほうに、○を付けなさい。

- ①胸骨圧迫は、(ア：肺を刺激して呼吸を回復させる イ：心臓を圧迫して血液を循環させる) ために行う。
- ②胸骨圧迫で圧迫する場所は、(ア：胸の真ん中 イ：左胸のやや下) である。
- ③胸骨圧迫は、(ア：自分の利き手 イ：両手) で行う。
- ④胸骨圧迫は、(ア：できるだけ軽く イ：体重をかけて強く) 行う必要がある。
- ⑤人工呼吸は、呼吸を吹き込むことによって、傷病者の(ア：肺 イ：脳) に人工的に酸素を送り込むために行う。
- ⑥AEDは、(ア：心臓 イ：脳) に電気ショックを与え、働きを正常に戻すための医療機器である。
- ⑦AEDは、(ア：救急救命士だけ使用が認められている イ：一般市民でも使用できる)。
- ⑧心肺蘇生を行うことで、傷病者は後遺症がなく社会に復帰できる可能性が(ア：高く イ：低く) なる。

活用の問題 (思考・判断・表現)

1 次の事例を読んで、下の問いに答えなさい。

Aさんは、自転車専用道路が無く、幅の狭い車道の左側を自転車で走行していた。途中、携帯電話を確認したら、バランスを崩して右側に寄ってしまい、後ろから来た自動車に接触しうくなった。慌ててハンドルを左に戻したが転倒してしまった。

Aさんは事故を回避できた可能性があります。事故が起きた要因と回避の方法を書きなさい。

① 人的要因

[]

② 回避の方法

[]

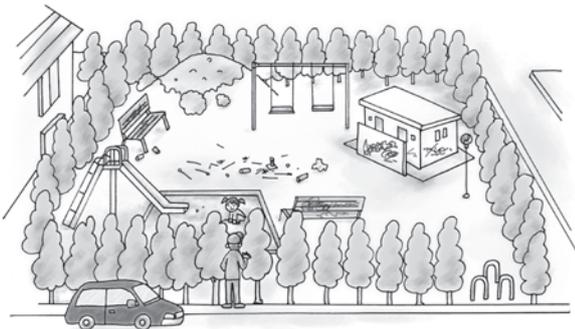
③ 環境要因

[]

④ 回避の方法

[]

2 次の絵は、犯罪の危険性が高いと思われる公園です。その理由を説明しなさい。



[]

3 あなたが住む地域で起こる可能性のある自然災害を一つ挙げ、それによって考えられる一次災害・二次災害にはどのようなものがあるか書きなさい。

① 考えられる一次災害

[]

② 考えられる二次災害

[]

4 あなたが登下校中に地震が発生したとき、具体的にどのように行動したらよいか書きなさい。

① 身の安全を確保する行動

[]

② 揺れがおさまったら、安全な場所に避難する行動

[]

5 心肺蘇生を二人で行うとよい点を一つ挙げなさい。

[]